

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手を取りあおう



2025-26 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「地域への奉仕を実現できるように、 感謝のエネルギーを拡散しましょう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

RI会長：フランチェスコ・アレッソ 2800地区ガバナー：小松 栄一 ガバナー補佐：伊藤 明彦
会長：奥村 健二 幹事：間木野 仁美 会報・史料委員会 委員長：伊藤 健二
委員：池田 等 石黒 雅知 森谷 正宏 松田 勝行 熊谷 一幸 金田 亮一

第2474回例会

2026-1/20(火) 天気(曇)

□例会場：パレスグランデール

□点鐘：PM 12:30 土田 貴英 副会長

□ビジター：IM実行委員会 相談役 後藤 憲一さん(山辺RC)

□司会進行 (SAA)：瀬野 敏和 君

□ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は会長欠席のため私が会長挨拶代読させていただきます。まず、本日のお客様をご紹介いたします。卓話ををお願いいたしました山形県副知事 高橋徹様、本年度IM担当の山辺RC後藤憲一様です。本日はようこそ山形南クラブにおいでいただきありがとうございました。

2026年(令和8年)の干支は、丙午(ひのえうま)です。午年にあたるこの年は、情熱や変化を象徴する年とされ、午年生まれの性格や丙午にまつわる迷信なども注目されています。60年周期の干支の中で43番目に位置し「情熱的で強い意志を持ちながらも、激しさや変化を伴う」といった意味合いを持つ年とされています。丙午は古来より特別視されており、その年に生まれた人の性格や運命についても、注目を集めています。そこで本記事では、丙午の年の象徴的な意味や、丙午の迷信、丙

午生まれの人の特徴を分かりやすく紹介します。2026年の干支は丙午(ひのえうま)です。丙午は十干(じっかん=甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)の丙と、十二支の午の組み合わせで60年に一度巡ってくる。では、他の午年と何が違うのか。「丙午の年は火事が多い」「丙午生まれの女性は気性が激しい」「男を食い殺す」など、信じ難い迷信がまことしやかにささやかれ続けてきたことだ。この迷信は、井原西鶴『好色五人女』(1686)にも描かれた八百屋お七の言い伝えに基づく。

「天知の大火」(1682)で焼け出された八百屋の娘・お七が、避難先の寺で出会った青年と恋に落ち、再び火事になれば青年と再会できるると考えた彼女は翌年、自宅に火を放ち、その罪で市中引き回しのうえ火あぶりの刑に処せられる。このお七が1666年の丙午生まれということが迷信に結びつくのだが、笑っていられないのはそこから300年を経た1966年、昭和の丙午の出生数が136万974人(前年比で約46万3000人減)と、統計を取り始めた明治以来で最低の数を記録していることだ。さて、令和はどうなる?

幹事報告 間木野仁美 幹事

- 会員の本田様のお父様が、1月2日にご逝去され、1月9日にご葬儀が執り行われました(東京にて)。本件につきましては、クラブより香典をお渡ししておりますので、皆様へご報告申し上げます。
- 1月27日(火)は職場訪問例会となっております。10時30分より片桐製作所様にて開催いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
- 2月3日(火)は例会終了後、第3回クラブ協議会を開催いたします。その後、理事会も予定しております。長時間となりますので、ご出席予定の皆様はどうぞよろしくお願ひいたします。
- 3月14日(土)、山形市内7ロータリークラブ合同によるボウリング大会の案内が届いております。山形ファミリー・ボウルにて、14時より開催予定です。皆様奮ってご参加くださいますよう、お願ひいたします。



米山奨学生
ソウ・ゲイケツさんに
奨学金の贈呈。

委員会報告

親睦活動委員会 鈴木 孝幸 君

1月の誕生祝いは伊勢和正君、松田勝行君、鈴木政康君、池田等君、柿沼正人君、武田和夫君、長沢一好君の7名の方です。おめでとうございます。



姉妹クラブ委員会 柿沼 正人 君

中津ロータリークラブとの交流会の日程表ご確認の上、多数のご参加よろしくお願ひいたします。

4月18日(土)～19日の予定です。都をどり鑑賞と懇親会のご案内です。

ニコニコBOX 渡邊 清則 君

大久保章宏君 国際ロータリーが6月4日～17日まで台北で開催されます。

長沢 一好君 誕生日ありがとうございます。

伊勢 和正君 誕生日ありがとうございます。高橋副知事卓話よろしくお願ひします。

土田 貴英君 奥村会長の会長挨拶代読させていただきます。

本多光一郎君 父の葬儀に際し、ありがとうございました。

柿沼 正人君 誕生日ありがとうございます。

松田 勝行君 誕生日ありがとうございます。

本間 安信君 17日の地区ローターアクト委員会ウインター交流会に参加してまいりました。

森谷 正宏君 妻の誕生日でお花ありがとうございました。

渡邊 清則君 次男が36歳で結婚いたしました。

例会場／パレスグランデール 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日 山形西 山形イブニング 火曜日 山形中央 水曜日 山形 木曜日 山形北 金曜日 山形東



「山形が世界に見つかってしまった」 ～実はこんなにすごい山形県～

山形県副知事 高橋 徹 氏

ナショナルジオグラフィックが 山形県を「2026年に行くべき世界の旅行先25選」へ選出

ナショナルジオグラフィックが本県を高く評価

- ・米国の有力旅行メディア「ナショナルジオグラフィック」が『Best of the World 2026 (2026年に行くべき世界の旅行先25選)』を発表
- ・日本では山形県が唯一選出（2025年10月）



本県の評価理由

- ・東京から約300kmと比較的近距離にもかかわらず、別世界のような静けさを保つ場所である
- ・聖なる山や静寂に包まれる寺院があり、神秘的な雰囲気を体験できる
- ・フォトジェニックな温泉が多く存在する
- ・四季を通して各地で伝統的な祭りが開催される
- ・混雑を避けながら通年で、古くからの伝統と神秘的なアウトドア体験が楽しめる

過去に選出された日本の都市

- ・2025年 金沢市（石川県）

ジャパンタイムズが 山形市を「世界に発信するに値する日本の自治体」へ選出

ジャパンタイムズが山形市を高く評価

- ・日本で最も歴史のある英字新聞「ジャパンタイムズ」が『持続可能な地域の実現に取り組み、世界に発信するに値する日本の自治体』を発表
- ・山形市が第一号（2025年10月）



山形市の評価理由

- ・山形国際ドキュメンタリー映画祭の開催、日本で唯一のユネスコ創造都市ネットワークの「映画」部門への加盟
- ・消費額日本一のラーメンや芋煮などの食文化
- ・歴史的建造物をリバーサイドした施設でのクリエイティブな取組みの推進
- ・歩くほど幸せになるまち』をコンセプトとしたまちづくりなど

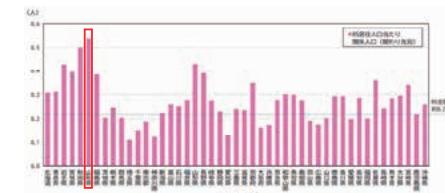


関係人口 全国1位

国土交通省調査「関係人口の実態」調査より

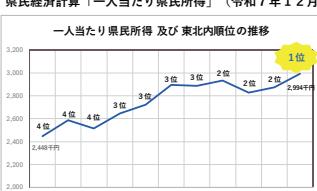
○居住人口当たりの関係人口は、**全国第1位**

○実人数に換算→**約48万人**が山形県を応援



「一人当たり県民所得」東北1位

県民経済計算「一人当たり県民所得」（令和7年12月、内閣府公表）



(注1) 一人当たり県民所得／県民人口。企業の利潤などを含む県民経済全体の所得水準を表す指標であり、県民個人の給与や実収入などとの比較はできません。

(注2) 県民経済計算の数値は毎年改定されることから、今回の順位についても来年度の推計結果では変更になる可能性があります。

R4実績

山形県	2,994千円
福島県	2,899千円
宮城県	2,871千円
秋田県	2,769千円
岩手県	2,709千円
青森県	2,704千円

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	算出会員数	出席会員数	出席率
本日	49名		30名	
前回修正				
他クラブでメークアップされた会員				

ナショナルジオグラフィックが 山形県を「2026年に行くべき世界の旅行先25選」へ選出

選出を契機とした本県の魅力発信、受入態勢の整備

インバウンド情報発信の強化

- ・ナショナルジオグラフィックの関連雑誌である「ナショナルジオグラフィックトラベラー」を活用した各國の旅行者へのPR
- ・ASEAN諸国における繁華街の大型モニターへの広告掲出
- ・JR東日本との連携による、訪日国人が多く訪れるJRバス引換窓口を活用した観光地情報などの紹介、動画放映等による本県の魅力発信と県内への誘導など



フォーダーズ・トラベルが 鶴岡市を「より多くの旅行者を必要とし、訪れる価値のある世界の10の目的地」へ選出

フォーダーズが鶴岡市を高く評価

- ・米国の大手旅行ガイドブック「フォーダーズ・トラベリスト」が『より多くの旅行者を必要とし、訪れる価値のある世界の10の目的地』を発表
- ・日本では鶴岡市が唯一選出（2025年11月）



鶴岡市の評価理由

- ・自然と寺院を中心とした古都
- ・出羽三山への巡礼、地元食材を使った精進料理
- ・ユネスコ創造都市ネットワークの認定を受けた「食文化創造都市」
- ・酒どころとしての特徴や温泉旅館

関係人口 全国1位

関係人口創出・拡大の取組み

背景

- 少子高齢化を伴う人口減少の加速、若者・女性の県外転出
- あらゆる分野における人手不足の深刻化

目的

- 地域経済や地域コミュニティの下支え
- 外部活力の取込み

⇒ 関係人口の更なる増加、関係性の強化が必要

対応の方向性

- 国で制度設計を進めている「ふるさと住民登録制度※」との連動など、関係人口施策をさらに推進していく

※住居地以外の地域に継続的に関わる人を「ふるさと住民」として登録し、地域の扱い手確保や地域経済の活性化等につなげていくとする仕組みのこと

令和8年度県政運営の基本的考え方

○重点化の方向性

1 県民のウェルビーイングの向上

- 県民が将来に明るい希望を持って、快適に楽しく住み続けることのできる県づくりを推進

2 県内経済の持続的な成長

- 社会経済情勢の変化をチャンスと捉え、生産性の向上や付加価値の増大を推進

3 安全・安心な地域づくり

- 災害の頻発・激甚化や地域の扱い手減少等を踏まえ、県民の安全・安心を確保するための取組みを充実

⇒ これらにより地域に賑わいを創出し、魅力を高めることで、若者・女性をはじめ、多様な人材を惹きつけ、持続可能な山形を実現していく。

※本日の結果は2週間後に報告　※修正は2週間前の結果報告

出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは？ 出席義務会員+メイク免除会員の出席者

出席会員数とは？ 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員